

別子校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 令和元年7月23日(火) 19時～20時30分
場所 別子山公民館
司会・進行 伊藤別子校区連合自治会長
参加者数 男 47人 女 5人 合計 52人



1. 市の重点事業に関する質問

【質疑応答】

(東部自治会) 防災関連について、台風時等で別子山地域と市内平地部の雨量には大きな違いがある場合が多い。銅山川の増水具合である程度体感できるが、テレビ等で雨量情報が把握できるようにしてほしい。

(市長) 新居浜市のHPでは別子山地域の雨量データも随時更新しているが、防災無線、CATV等が活用できないか検討してみる。

(大成自治会) 外国人労働者の雇用について新居浜市の状況等を伺いたい。また、林業方面への外国新労働者の導入についても検討していただきたい。

(市長) 市内の工場地区辺りでは、そんなに多くはないが、ベトナム等、東南アジア諸国の外国人労働者を受け入れている会社はいくつかある。まだ受け入れている会社でも将来的には受け入れを検討している所が多数あるようだ。県の関係機関等とも協議、連携して、林業分野への導入についても前向きに検討したいと思う。

2. 校区課題

課題名 成運動公園トイレの水洗化等の施設整備について

【質疑応答】

(大成自治会) 成運動公園のトイレは現在汲み取り式であるが、非衛生的であり施設の老朽化も進んでいる。施設改修に伴う水洗化(浄化槽設置)を要望する。また、駐車場～グラウンド～銅山川へ至る間の排水施設(側溝)、スロープの設置、路面の補修等を要望する。

(教育委員会事務局総括次長) 成運動公園については、6月27日にスポーツ振興課職員が現地を確認させていただいた。7月16日には伊藤連合自治会長、和田大成自治会長にもお越しいただき、現地確認をしているところだ。また、私自身も本日現地を確認させていただいた。まず、トイレの浄化槽設置による水洗化についてですが、浄化槽式トイレは、浄化槽内部においてバクテリアが活動することで有機物を分解し、汚水を浄化している。したがって、バクテリアが活動するためには、定期的に利用される必要がある。常時使用されない場合には、浄化槽内部のバクテリアが死滅してしまい、汚水の浄化ができなくなってしまう。成運動公園については、夏場の利用はあるが、長期間にわたり利用されない期間がある。過去2年の利用状況を確認したところ、7月から9月までの3か月は利用があったが、残りの9か月は利用が少ないという現状がある。このようなことから、浄化槽式トイレの設置につきましては、難しいものと考えているが、トイレの改修、水洗化については、その他の方法なども含めて今後検討してまいりたい。

排水施設、路面補修、スロープ設置については、グラウンドの傾斜や河川境界の確認等、土木技術職員も交えて確認し、どのような方法、対策が有効であるか今後検討してまいりたい。

(大成自治会) 浄化槽の設置は難しいとの事だが、何か良い方法を検討していただいて早急に取り組んでいただきたい。

課題名 地域内市道、林道の定期的な側溝清掃について

【質疑応答】

(東部自治会) 台風、大雨の際に市道、林道の側溝各所から排水があふれ出している。限られた予算による部分的な側溝清掃ではなく、全域的、定期的に実施出来る予算を計上し、側溝清掃に取り組んでいただくことを要望する。

(建設部長) 市道の側溝清掃については、地元からの要望や蔭地線や大野線等の人家の近辺から優先的に側溝清掃を実施することとしており、平成30年度はまちづくり校区懇談会で要望のありました大野線、蔭地線の側溝清掃を実施した。今年度も大野線、蔭地線の側溝清掃を予定しているが、具体的な要望箇所があれば、要望箇所を優先して側溝清掃を実施していく予定だ。なお、ご要望の別子山地域内の全ての清掃を毎年実施するのは業務量が膨大であり、実現は困難であるため、部分的な対応となることについて、ご理解、ご協力をお願いしたい。

林道の側溝清掃につきましては、昨年度は、大湯線においてゆらぎの森の西の区間を実

施した。側溝清掃は、冬場の除雪業務の状況を見極めながら、人家への影響の度合いを考慮のうえ施工箇所を決定しており、実施時期は年度末を予定している。なお、市道と同様に、全域的に清掃を実施することは困難であるので、ご理解を頂きたい。

(大成自治会) 昨年はこちらの企業組合で殿小屋トンネルから四国中央市境まで県道の草刈りをして、費用としては100万円いかないぐらいだった。側溝清掃程度ならそんなに予算もかからないだろうと思うが。

(建設部長) 公共工事として発注する事となり、単価的な差もあるだろうと思われる。また、県道と市道、林道の総延長の差もあり、厳しいところがある。効果の高いところから優先的にという事で、地域の方のご協力も得ながら取り組んでまいりたい。

(東部自治会) 大がかりな側溝清掃をして一度きれいにしても、一年間も置いておくと落ち葉等が堆積してすぐに同じことになってしまう。軽微な清掃で良いので定期的に掃除をして欲しい。

(建設部長) 側溝清掃後の定期的な管理という事だが、より良い対応ができないかという事で担当課とも協議・検討をしてまいりたい。

(東部自治会) 小美野集落へ上がっていく市道の横断排水が詰まっていた機能していないので対応願いたい。大雨の時に排水が溢れて山の斜面に流れ出てしまい、災害につながる恐れがある。

(建設部長) 早急に対応できるものなのか、まずは現地の状況を確認する。

(東部自治会) 市道太田尾線が今年の台風災害ですずっと通行できない状況となっている。

(建設部長) 市道太田尾線につきましては通行止めが長くなっておりご迷惑をおかけしている。現在は傾斜計等の機器を設置し、地滑りの状況を観測して、場所の特定をしているところだ。先程の側溝清掃の件に関してだが、現在の新居浜市の工事の発注方式では限界があるので、出し方の方法や委託の仕方で、もう少し施工の延長が出来ないかを検討する。

(西部自治会) 県道拡幅工事をしているところから別子ダムの間で路面が痛んでいて通行しにくい箇所があるので修繕して欲しい。

(建設部長) 場所を確認して県に連絡する。

課題名 別子木材センターによる別子山地域活性化対策について

【質疑応答】

(大成自治会) 国の林業活性化の取り組みに合わせ、別子木材センターにおいて、機器を

新しい性能を持ったものに更新し、住宅用資材等新しい商品開発を行うことにより、生産販売を推進し、別子山地域を活性化してほしい。

(経済部長) 別子山地区の林業に関する取り組みとして、別子山地区森林整備事業が今年度から始まり、4年後の令和4年度から搬出間伐され、別子木材センターに間伐材が供給(年1,000m³程度)される予定となっている。しかし、ご案内のとおり、別子木材センターの機械設備等については、基本的に会社が設立した昭和61年3月に新設されたものであり(34年経過)、老朽化が進行し、供給予定の間伐材に対する加工処理の能力不足が危惧されている。また、別子木材センターの経営状況については、近年の平屋率の増加(約35%)により、主要な取引先である住友林業クレストからの階段廻り製品の受注件数が減少したことで、平成30年度末の当期純損益がそれまでの黒字から赤に転じており、さらに、住友林業クレスト自身も内製化にシフトしたことから、今後の受注件数の増加も見込めない状況となっている。このような状況の中、別子木材センターとしても、経営の立て直しを目指して経営計画の見直しを進めていると聞いており、今後、住友林業、愛媛県の協力も得ながら、見直しされた経営計画に基づき、機械設備等の更新、新商品の開発、新たな販路開拓など、市としてもできる限りの支援を検討していきたいと考えている。

3. その他

【質疑応答】

(大成自治会) 水道施設について、一週間ほど前になるが成の配水タンク内部に浮遊物があつた。安心、安全な水を供給して欲しい。

(市長) 現地調査を命じ、対応するように指示する。

(大成自治会) 先程の市道太田尾線について、現在の通行止めの箇所から200~300m程下でも崩れかかっているのでは、ご注意願いたい。現在の通行止めの箇所はいつ頃復旧の見込みなのか。長期間の通行止めになっていて、大川村に用がある時に随分困っている。仮復旧などで通行可能にできないか。

(建設部長) 市道太田尾線の別の箇所については、災害という事で対応している。仮復旧にて通行可能に、との事だが、計測結果が出て仮復旧にて通行が可能という事であれば、そのように対応したいと考えるが、計測結果が出るまで今しばらくお待ちいただきたい。

(別子郵便局長) 現在の別子郵便局は大正13年に建築された建物で95年が経過している。当社で耐震調査をしたところ、倒壊の危険性があるとの結果が出ており、建て替えか公共施設内への移転を検討しているところだが、建て替えについては非常に難しい状況である。ご相談に乗っていただければと思う。

(市長) 支所については別子山公民館に移転するという事が決定しており、現在は実施設

計に取り組んでいる段階なので、時間的余裕があるのかないのか、スペース的に入れるのかどうか、入れないとしたら他の候補地があるのかどうか、地域の皆さんとの協議も必要と考える。出来る限りの協力はしたい。